

M. C. 英語英文学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

一回生の冬ごろから、友達が一年間の協定大学留学の準備を始めたのをみて興味をもちました。実際に留学を目指したのは二回生の春ごろです。きっかけは、同志社大学に留学にきた交換留学生との交流を通じて、ネイティブスピーカーともっと自然に会話できるようになりたいと思ったからです。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

目標：IELTS 6.5

参考書：IELTS ACADEMIC 17

留学にあたって IELTS が必要だったので、その勉強をしました。それまで受けたことがなかった試験だったので一度目は実力をはかるため受験しましたが、行きたい留学先への点数が足りなかったため、公式の参考書を買って対策をし、二度目の受験で目標点に到達できました。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

国際課の English Chatroom を活用し、ネイティブスピーカーとの会話に慣れました。大学の授業を真面目に受けることも語学学習に繋がります。

◆ ビザ申請方法

私の場合は EL Education の方の協力もあったので、オンラインで必要事項を記入するのみでよかったです。留学する約一か月前にビザがおりる条件が変更されたので、はじめは観光ビザで入国し、現地で留学ビザを取得しましたが、どちらもオンラインで可能でした。

◆ その他

航空券の予約など慣れない手続きが多く大変でした。時間に余裕をもって行動するのが一番ですが、留学準備にはいろいろな方が携わるゆえに、自分の都合だけでは進めていけないことも多いです。自分でできることはすぐに終わらせたうえで、メールを細かくチェックすることをおすすめします。

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

空港から滞在するホームステイ先へは、ホームステイ先を手配する会社のタクシーサービス

スを使用しました。15 分ほどで着いたと記憶しています。

◆ **現地でのオリエンテーション期間中にしたこと**

留学生に向けてのオリエンテーションに参加しました。

◆ **その他必要な諸手続き方法**

約 3 か月のみの留学だったので、口座は開設しませんでした。代わりにクレジットカードを新しくつくりました。保険等も EL Education の方に手伝ってもらい、オンラインで完結しました。

⑤ **語学研修期間**

◆ **語学研修先の施設・環境について**

語学研修期間なし

◆ **授業内容、課題、試験**

なし

⑥ **正規科目履修期間**

◆ **大学の施設・環境について**

大学のキャンパスはとても広く、迷子になる可能性が高いです。バス停やトラムの停留所などもキャンパスの周りにいくつもあるので、自分がどの交通機関を使って移動するのか、事前に確認することをおすすめします。

◆ **履修科目について**

・ **ARTS1250 Human Geography**

教授の話を聞くことに専念するレクチャーと、クラスメイトとディスカッションをするチュートリアルに分かれており、基本的に週に二回授業がありました。事前課題として課題図書指定の章を読むことが求められます。基本的にオンラインで読めます。持ち帰りの中間テストが一回と、レポート課題が二回ありました。他にはディスカッションの前に課題が出ます。その課題を使って授業を進めることが多かったです。

・ **ARTS 1810 Foundation of Politics and IR**

同じくレクチャーとチュートリアルに分かれています。政治について多方面から学習する授業です。指定の課題図書を読むことが求められます。レクチャーの中でも近くの人と意見交換する場が沢山ありました。課題はレポート課題が二回と、成績には影響しませんでした。理解度確認テストが四回ほどありました。先生も優しい方で、ディスカッションについていけなくて自分の意見が言えなかった際、メールで意見と感想を送らせてもらいました。

・ **ARTS 2785 Europe's Age of Catastrophe, 1914-1945**

第一次世界大戦ごろのヨーロッパを多角的にアプローチする授業です。この授業もレクチ

ヤーとチュートリアルに分かれており、基本的に週二回のクラスでした。課題図書が多く、内容も難しかったので苦勞しました。レポート課題が二回ありました。二年生向けのクラスだったのでレポートも洗練された内容が求められ、苦戦しました。この授業は私には難しすぎると判断し離脱したので、単位はありませんでした。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

Language Exchange Program に参加し、週一で集まり活動していました。

⑧ 現地での住まいについて

◆ 正規科目履修期間

一度目のホームステイ先では広めの一人部屋、トイレ・シャワーは共同でした。私のほかに二人の留学生が生活していました。食事は朝と夜は基本ホストマザーが用意してくれました。昼は自分でつくるか、外食でした。

⑨ 長期休暇の過ごし方

1 セメスター留学のためなし。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

オンラインの企業説明会にいくつか参加しました。

キャリア支援部からの基本ガイダンスもオンラインで視聴しました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

現地でできたカナダからの留学生の友達と一緒にメルボルンに行ったことです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

レポートが難しく寝る時間を削って仕上げた結果、熱を出してしまい苦勞しました。自分の時間の使い方と健康意識の低さを実感しました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

日本では衝突を避けるために自分の意見を直接伝えることは少ないですが、オーストラリアだと自分の意見を自信をもって言うことが日常でも評価されます。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、様々なバックグラウンドをもつ学生と関わる事ができたことです。悪かった点は留学生や交換留学生が多いため、同じナショナリティでまとまるが多かったことです。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは持参しました。念のため変換アダプタも持って行きました。一度だけ風邪をひいたので、体温計を持っていたて助かりました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

ネイティブスピーカーとの会話が自然にできるようになりました。また、もともと人見知りだったのですが、人に話しかけたり自分から行動できるようになりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は自分が成長できる大きなチャンスだと思っています。やらない後悔よりやった後悔が良いと思うので、迷っているならまずは行動してみることをおすすめします。

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

英語を活かして世界と関わる仕事がしたいので、貿易関係や商社に就職したいです。海外旅行もたくさんしたいです。

V. 写真



留学生向けのオリエンテーションでの写真です。大学生活の基本や注意すべき点、困ったときに頼るべき機関を教えてくださいました。周りに座っている人も同じ留学生なので、友達も作りやすく、情報交換もできました。

2024 年度（春スタート・1 セメスター）
University of New South Wales



友人とタロンガ動物園に行った帰りのフェリーでの写真です。フェリーから見えるオペラハウスをはじめとした湾岸のビルが綺麗だったので、お土産に買ったぬいぐるみと一緒に撮りました。



UNSW 大学の入り口です。メインエントランスは二か所あり、そのうちの一つです。キャンパスは広大で、端から端まで徒歩 15～20 分ほどかかります。授業が始まるまでにどの建物で授業が行われるか把握し、使用する交通機関からの経路も確認しておくことをお勧めします。